

セグロウリミバエの拡大防止のため、 年内（12月）での家庭菜園のウリ科 植物の早期片付けをおねがいします。

- 沖縄本島地域において、ウリミバエとよく似たセグロウリミバエが確認されており、まん延するとウリ科等の農作物に大きな被害を及ぼす恐れがあります
- 特に野外に放置されたウリ科果実に寄生する事例が確認されています

- セグロウリミバエの拡大防止のためには以下の対策が重要です

①管理が不十分な（害虫対策をしていない）

ウリ科植物の除去

- ・ 収穫を終えたウリ科植物
- ・ 勝手に生えてきたウリ科植物
- ・ 野生のウリ科植物

②不要な果実を野外に放置しない。

※本種に寄生されると発生源になります。
ビニール袋で密閉や埋設等をして確実に処分してください

- 気温が低下する、冬場における対策が、本種のこれ以上のまん延防止のためには重要になります

再び、ウリミバエのような被害を受けないためにも、家庭菜園を管理または農家の皆さまの徹底した防除対策のご協力をお願いいたします

セグロウリミバエ

体長8~9mm



ウリ科果実から
出てきたウジ(幼虫)



体長7.5~9mm

野外の不要な
ウリ科果実（植物）



枯れかけた
ゴーヤー

野生ウリ

📞 連絡先

詳しくは
こちら！

沖縄県病害虫
防除技術センター
ホームページ



▶ 沖縄県病害虫防除技術センター：098-886-3880

野外でみられる主な野生のウリ科植物

オキナワズズメウリ



【特徴】

- 石灰岩地帯に多く見られる一年生のつる性草本
- 葉はハート形でやわらかく、5～7の切れ込みがあり、ニガウリの葉に似る
- 果実は球形で径2cmくらい、白色の縞もようがあり、熟すると鮮やかな赤色となる（果実は周年見られる）

ケカラスウリ



【特徴】

- 林縁によくみられる多年生のつる性草本
- 木などに巻き付いて樹上高所へよじ登る
- 葉は円心形で、3～5の切れ込みがある
- 果実は卵形で長さ4～7cm、幅2～3cm、先端がくちばし状にとがる。熟果は紅赤色（果実は周年見られる）

ヤサイカラスウリ



【特徴】

- 多年生のつる性草本
- 葉と対生する巻きひげで他の物によじ登り、長さ4～8mになる。
- 葉は時に深く3裂し、長さ幅ともに5～10cm、先はやや円く、基部は広い心形
- 熟果は紅赤色。若葉と若い果実を食用にする（果実は6月ごろ見られる）

リュウキュウカラスウリ



【特徴】

- 山地の日当たりの良い道端で見られる多年生のつる性草本
- 葉は円心形で、無毛、つやがあり、サツマイモの葉に似る
- 果実は球形～洋ナシ型、長さ4～5cm、幅3～5cmで黄色から橙色に熟する（果実は9～10月ごろ見られる）

オオカラスウリ



【特徴】

- 林縁に生える大形のつる性植物。
- 茎は木や他のものに巻き付いて伸び5～8mになる。
- 葉はハート形で5～7の切れ込みがある。
- 果実は球形で直径7～9cmで黄色～オレンジ色に熟する。（果実は5～9月ごろ見られる）

その他 アメリカズズメウリ



鑑賞用ゴーヤー



【出典：ミバエ類寄主植物調査ハンドブック_沖縄県病害虫防除技術センター】

※セグロウリミバエの寄生が確認された植物ではありません